

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	産業集積地域に学ぶ将来の理工系人財育成事業
事業主体 (連絡先)	(公財)上伊那産業振興会 伊那市西箕輪 2415-6 電話 0265-76-5661
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に資する事業 (オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業)
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,779,596円 (うち支援金: 1,363,000円)

事業内容

上伊那産業集積地域に学ぶ人材が、一人でも多く社会貢献の出来る理工系人財へと成長することを応援する取り組みです。県立南信工科短大と「地域社会全体」を活動のキャンパスと見なし、上伊那の5年後10年後のリニア新幹線開通の時代に地域を牽引する人材の育成と、「地域の人づくり」からSDGsにつながる上伊那のモデル事業を目指しました。

1、科学ふれあいフェア

- 小学生が南信工科短大の教員や学生の指導で、12コースのものづくり体験/科学実験を楽しみました。
- 「未来の車」「科学技術」をテーマに小学生のイメージデザインコンクールを実施し、7名の作品を表彰しました。

2、ものづくり出前授業/中学部活 (科学部) 支援

- 小学4年生にはコマづくり、6年生には地域をテーマにした双六づくりを、中学生には結晶づくりやドローンを南信工科短大にて実施、チームワーク、ものづくりを学びました。

3、南信工科短大/企業/高校との交流や共同研究

- 南信工科短大生が企業見学を通し社会勉強をしました。
- 高校生の授業の一環として、経木、ドローン、IoTプログラミングを学びました。

4、企業と南信工科短大の共同研究を支援しました。

5、科学技術講演/講習会

- VR技術、公差設計など3テーマの講演/講習会を開催しました。

6、環境出前授業

- 上伊那7小学校にて環境野心エネルギーの出前授業を行いました



科学ふれあいフェア



デザインコンクール



ものづくり出前授業



中学部活



環境出前授業



高校生との交流

事業効果

1、参加者数

生徒/学生1,000名、対象校12校、対象企業33社が参加しました。

2、南信工科短大と地域との距離が縮まり、学校のPRになると共に科学技術への興味とモチベーションの向上に貢献できました。

3、コロナ感染防止対策をする中で人数制限はあったが、人と人の直接的コミュニケーションを取ることが出来ました。

4、共同研究の結果を担当教員が学会へ報告した結果、表彰を受け全国的知名度アップにも貢献できました。

今後の取り組み

コロナ禍での取り組みで得たことも活かし、今後も発展継続させ、更に地域から期待される取り組みとしていくと共に、様々な活動とも連携し地域発展の結果を出すことを目指し、また、南信工科短大のキャンパスを地域全体に広めて行く。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ①地域の将来を担う若者たちに地域の様々な魅力を知ってもらおう。
 - ②ものづくりや科学技術の楽しさを体感し、将来の進路を見つけてもらう。
 - ③教育の拠点としての南信工科短大を知ってもらい、地域に生かす。
- などにより、地域に住み続け地域を盛り上げる人材を育成すること。

自己評価【 A 】

【理由】

- ・南信工科短大と地域社会との繋がりが大きく前進した取り組みとなりました。特に小中高との具体的なテーマでの交流は今後に大きな期待を持つことが出来ました。
- ・すべての事業を着実に遂行しました。
- ・コロナ禍による規模の限定はありましたが、南信工科短大や小中学校の教職員、上伊那産業振興会職員の熱意と一丸となった活動でした。